

令和4年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	今年の雪 速報会 2021-22	事業経緯	継 続	実施体制	共 催	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

本事業は、行政機関や学術・民間の有識者による講演等を通じ、北陸地域における直近の冬季における降雪・積雪、雪災害の状況とその対策について認識を深めるとともに、社会資本整備の今後の方向性やあり方等について考える機会を提供する。

2. 事業実施体制

共 催：NPO法人水環境技術研究会、(公社)日本雪氷学会北信越支部、
(国研)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター、(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業概要

日 時：令和4年5月25日(水) 13:00～16:30

場 所：オンライン(ZOOM)開催

プログラム：

第一部 ～今年の雪の気象学的特徴について～

- ①「北陸地方を中心とした2021/22冬の天候と降雪の特徴」
山本 浩(気象庁新潟地方気象台)
- ②「2021/22冬季の大雪をもたらした大気循環場の特徴」
本田 明治(新潟大学理学部)

第二部 ～今年の雪への対応について～

- ③「長岡国道事務所における今冬の取り組み」
谷口 雄一(国土交通省長岡国道事務所)
- ④「NEXCO東日本新潟支社における今年の雪氷対策とその効果」
久保 竜志(NEXCO東日本新潟支社)
- ⑤「令和3年度の新潟県の道路除雪対応について」
伊藤 匠(新潟県土木部道路管理課)
- ⑥「島道鉱泉の雪崩」
上石 勲(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)
- ⑦「R4豪雪 その被害と課題」
吉越 哲也(妙高市総務課)
- ⑧「国道252号あいよし橋の雪崩流出について」
大竹 和彦、三瓶 融(福島県南会津建設事務所)

第三部 総合討論

進行：瀬戸 民枝(新潟県魚沼地域振興局地域整備部)

参加者：160名

4. 事業実施により期待される効果(社会貢献度等)

本事業は平成17年から毎年開催(R2はコロナ禍で中止)しており、今回で17回目。豪雪地という地域特性に適ったセミナーで、技術的・理学的に多彩な分野から話題提供がなされることで関心を集め、熱心な聴講者を得ている。
プログラムにあるとおり、気象面での特徴や国・県等道路管理者それぞれの管内での対応のほか、糸魚川市島道鉱泉、国道252号あいよし橋といった特定のスポットでの被害について情報共有することにより、今後の施策の方向性を考えることができた。雪対策を担当する技術者の資質向上に寄与するとともに、安全・安心な地域づくりにつながっている。

